

点字五十音表(凹面)

右から左に打っていきます。

■五十音

お	え	う	い	あ	点字の母音(ア行)は、五十音の基本となるものです。1,2,4の点だけで構成されています。
こ	け	く	き	か	カ行は母音に6の点を加えたもの。覚えたいかたは「かろく」と覚えるといいと思います。
そ	せ	す	し	さ	サ行は5,6の点「さごろく」
と	て	つ	ち	た	タ行は3,5の点「たさんご」
の	ね	ぬ	に	な	ナ行は3の点「なさん」
ほ	へ	ふ	ひ	は	ハ行は3,6の点「はさむ」
も	め	む	み	ま	マ行は3,5,6の点「まさごろう」

よ 		ゆ 		や 	ヤ行は「あうお」を形を崩さずに一番下まで下げ、4の点を加えます。
ろ 	れ 	る 	り 	ら 	ラ行は5の点「らご」
ん 		を 		わ 	「わを」は「あお」を形を崩さずに一番下まで下げるだけです。「ん」に関しては特に法則はありませんが、「ん」に形が似ていると思えば覚えやすいでしょう。

■濁音・半濁音

濁点(゜)、半濁点(゜)は2マスを使って書きます。

濁点の場合は五十音の前に5の点を打ち、半濁点の場合は五十音の前に6の点を打つことによって表されます。

ご 	げ 	ぐ 	ぎ 	が
ぞ 	ぜ 	ず 	じ 	ざ
ど 	で 	づ 	ぢ 	だ

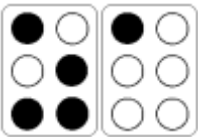
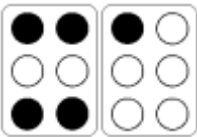
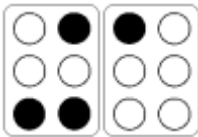
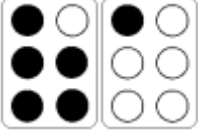
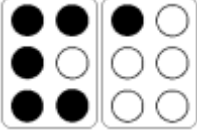
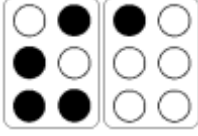
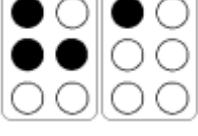
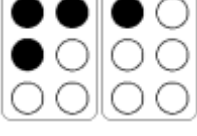
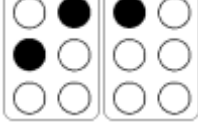
ぼ 	べ 	ぶ 	び 	ば
ぼ 	べ 	ぶ 	び 	ば

■拗音

拗音も 2 マスを使って書きます。

拗音はまず 4 の点(拗音符)の後に五十音(ア列・ウ列・オ列)を書きます。

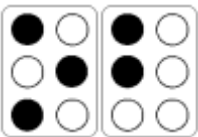
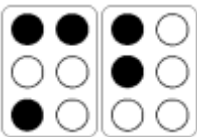
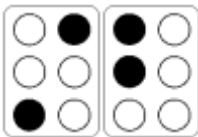
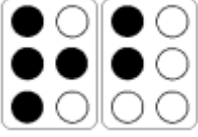
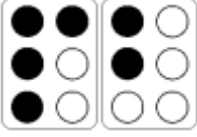
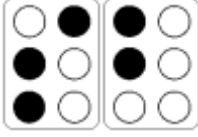
きょ 	きゅ 	きゃ
しょ 	しゅ 	しゃ
ちょ 	ちゅ 	ちゃ
によ 	にゅ 	にゃ

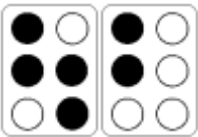
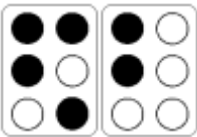
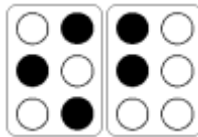
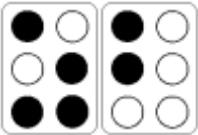
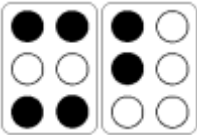
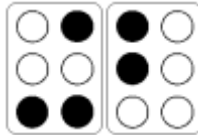
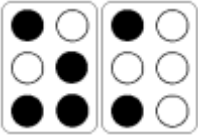
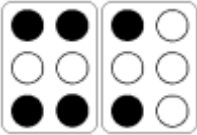
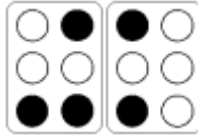
ひよ 	ひゆ 	ひゃ 
みよ 	みゆ 	みゃ 
りよ 	りゆ 	りゃ 

拗音を打つ場合には、まずはその拗音のローマ字を思い浮かべてください。
 例えば「きゃ きゅ きょ」の場合は「kya kyu kyo」となります。
 点字の拗音は、4 の点を 1 マス目に打ち、2 マス目にはローマ字の「y」を省いた文字を打ちます。
 「きゃ」であれば、1 マス目に 4 の点を打ち、2 マス目には「kya」から「y」を省いた「ka（か）」を打ちます。
 「きゅ」は 4 の点と、「kyu」から「y」を省いた「ku(く)」。
 「きょ」は 4 の点と、「kyo」から「y」を省いた「ko(こ)」を打つことで表すことができます。

▼拗濁音・拗半濁音

拗濁音・拗半濁音は 1 マスの中に拗音符(4 の点)と濁音符(5 の点)、もしくは半濁音符(6 の点)を組み合わせ、2 マス目に五十音(ア列・ウ列・オ列)を書きます。

ぎよ 	ぎゆ 	ぎゃ 
じよ 	じゆ 	じゃ 

<p>ぢょ</p> 	<p>ぢゅ</p> 	<p>ぢゃ</p> 
<p>びょ</p> 	<p>びゅ</p> 	<p>びゃ</p> 
<p>ぴょ</p> 	<p>ぴゅ</p> 	<p>ぴゃ</p> 

拗濁音・拗半濁音は、拗音と同じく、ローマ字を思い浮かべて、2文字目にある「y」を省いた文字を2マス目に打ってください。

例えば「びゃ」であれば、1マス目に4,5の点を打ち、2マス目には「bya」から「y」を省いた「ba(ば)」を打ちます。

「びゅ」は4,5の点と、「byu」から「y」を省いた「bu(ぶ)」

「びょ」は4,5の点と、「byo」から「y」を省いた「bo(ぼ)」を打つことで表すことができます。

■長音・促音

長音はのびる音「ー」のこと、促音はつまる音「っ」のことです。

<p>長音(ー)</p> 	<p>促音(っ)</p> 
--	--